

## 選定理由【社会科（歴史的分野）】

社会科の歴史的分野においては、令和2年度における採択の理由や検討の経緯及び内容等を踏まえ、新たに発行されることとなった自由社を含めた7者（東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、自由社、育鵬社）について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校社会科」の〔歴史的分野〕の目標である「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、歴史的な人物や主な出来事に関して興味・関心をもち、各時代の大まかな特色を理解している生徒が多いこと、また、視覚的な教材を用いると、意欲的に学習に取り組む生徒が多いことが報告されている。一方、課題としては、諸資料を基に歴史的事象間の因果関係を考察することや、各時代の大まかな特色を説明することが苦手な生徒が多いことなどが報告されている。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、歴史的分野における「主体的・対話的で深い学び」の実現を促す上で、様々な図版資料を用いて考察させながら、現代的な諸課題の解決に主体的に取り組み、思考力・判断力・表現力等を高めることで、「学びを人生や社会に活かそうとする力」につなごうとしている工夫が、東京書籍の教科用図書には多く見られるという報告があった。

これらの専門委員会からの報告を踏まえ、本採択地区協議会において協議を行った結果、東京書籍の教科用図書が適切であると選定された。

なお、東京書籍の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、単元を貫く課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化されている。

また、見開きで学習課題が設定され、「歴史にアクセス」コーナーなどで追究し、最後に、学習内容の定着を図る「チェック&トライ」に取り組める構成・配列の工夫が見られる。

- (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、学習したことを確認できる「基礎・基本のまとめ」や、歴史の学習に必要な技能を身に付ける「スキル・アップ」を設けるなどの工夫が見られる。

また、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために「思考ツール」を活用してまとめたり、コラム「もっと歴史」で思考を深めたりできる工夫が見られる。

さらに、歴史的事象間の因果関係を、諸資料を基に考察したり、各時代の特色を説明したりする力を育成するために、単元を貫く課題を設定したり「+プラス」で複数の視点で考えたりすることができる工夫が見られる。

- (3) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、二次元バーコードを読み取り、デジタル資料を活用できる工夫が見られる。

また、ページ下の「チェック&トライ」で学習内容を振り返ったあとに、数ページ先の「探究のステップ」のページに取り組めるなどの工夫が見られる。